

mercari 株式会社ヤクルト山陽 安芸高田市 三次市

企業と自治体が連携し"まだ使える"不要品を回収
「メルカリShops」で販売する
リユース推進の実証実験を開始



「メルカリ・ヤクルト山陽・安芸高田市・三次市による リユース推進の実証実験」について

取組主体：※連携企業・自治体はタイトルの通りです

課題
や現状

- ヤクルト：グループの持続的な成長に向けた経営資源(センター・営業所、ヤクルトレディ)の有効活用
- 自治体：不要品の回収・販売といった運用にかかる人件費や回収後の保管場所確保
- メルカリ：フリマアプリの利用が増えている一方で、リユースの購入未経験者が増加[[環境省の調査データ\(令和3年度 リユース市場規模調査 報告書 P69](#) より)]

解決策や
アイデア

- ヤクルトセンターや営業所のほか、3つの方法で地域の”まだ使える”不要品を回収し、「メルカリ Shops」上でのリユース品販売に伴う作業の一部をヤクルト山陽が代行する実証実験を開始
- いずれも回収された不要品はヤクルトセンター・営業所にて一時的に保管され、ヤクルト山陽のスタッフによる検品や梱包を経て、リユース品としてヤクルト山陽の「メルカリShops」アカウントにて販売。
- ヤクルトのセンターや営業所という「スペースのシェアリング」と「ヤクルトレディのリソースのシェアリング」によって地域でリユースを推進していく試み

取組状況
や成果

- 実証実験期間に目標の出品数に対して順調に実績が進捗しているほか、取り組みに関わっているヤクルトレディからは、「お客さまの満足度向上につながっている」という声が届いています。また、自治体からは市民のリユース意識を高め、行動変容を促すきっかけとなっているため、今後も取り組みを継続していきたいという意向をもらっています。また、本取り組みのPR効果によって、ヤクルトの企業イメージ向上にも繋がり、ヤクルトの飲料製品や化粧品の新規顧客獲得にも継続的につながっています。

実証実験の概要



会員さん等が持ち込んでくれた
リユース可能品
ヤクルトレディによる回収は期
間限定（～9月）で実施



市の所有する備品のうち、リ
ユース可能品

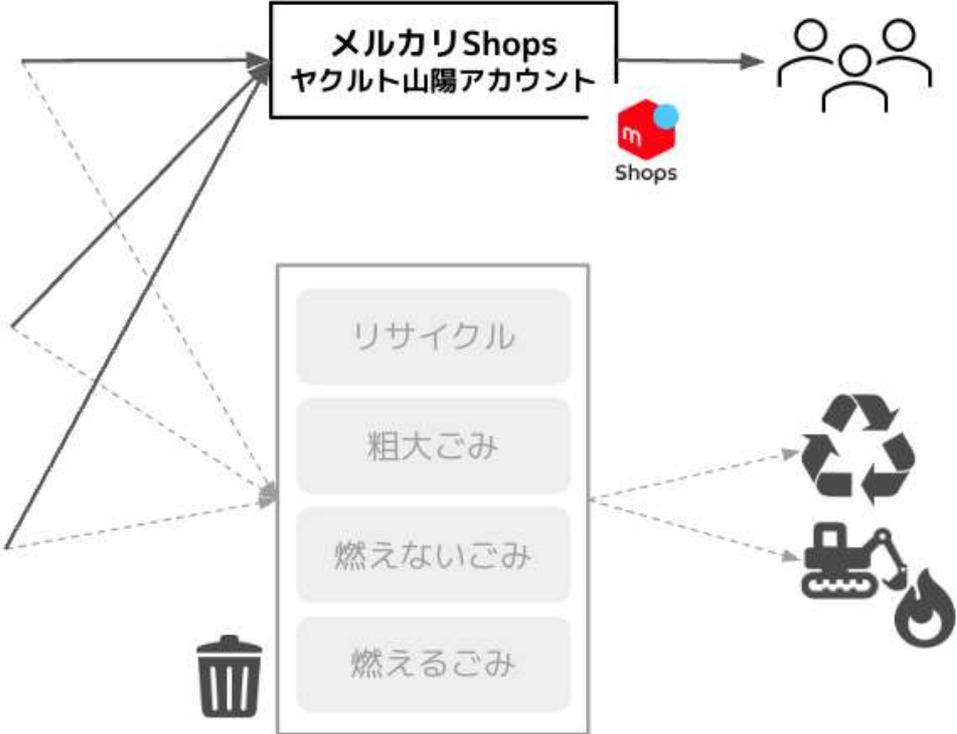


地域住民からクリーンセンター
に持ち込んできた品物のうち、
リユース可能品

メルカリShops
ヤクルト山陽アカウント



- リサイクル
- 粗大ごみ
- 燃えないごみ
- 燃えるごみ



実証実験の実施体制

株式会社ヤクルト山陽

実証実験の総合窓口、連携先との全体調整実施、
リユース可能品の回収/選定/検品/出品・販売業務。
市の所有する不要品の出品・販売の請負、広報活動、効果検証の実施



市の所有する備品のうちリユース可能品の選定、検品、
ヤクルトセンター・営業所への持ち込み、広報活動、効果検証支援



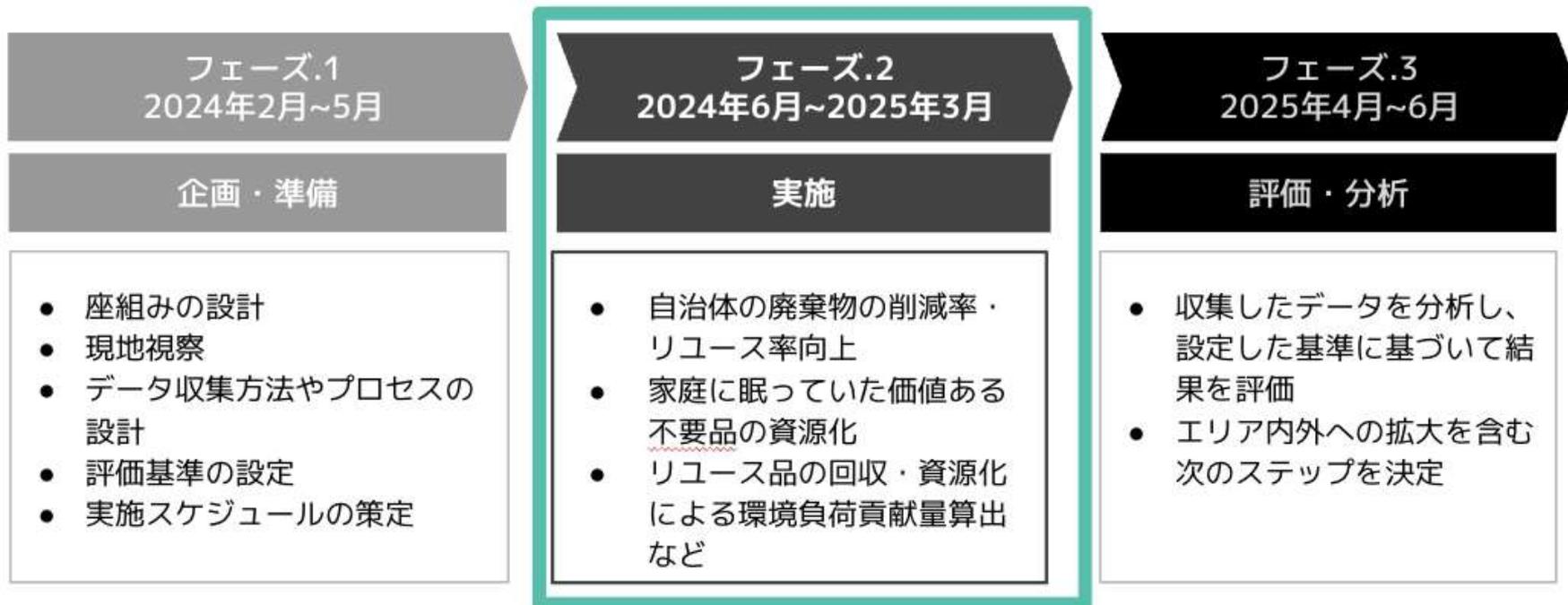
クリーンセンターにおけるリユース可能品の選定、検品、
ヤクルトセンター・営業所への持ち込み、広報活動、効果検証支援



「メルカリShops」運営に係る助言、他自治体へ展開するための協議、
広報活動支援、実証実験全体の効果検証の取りまとめや報告書の作成

実証実験のスケジュール

約半年ほどかけて地域住民のニーズの把握と、リユース品の販売に関わる一連の運用についてのモニタリングを行い、評価・分析を実施



工夫ポイント①：自治体や地域住民のニーズ・課題の把握

- 2024年の2月に広島県安芸高田市、三次市を訪問し、直接当時の両市長を交えた意見交換を実施。リユースの重要性を認識している一方で、不要品の回収・販売といった運用にかかる人件費や回収後の保管場所など、活動の継続性に関する課題を抱えていることが分かりました。
- また、もともとメルカリ教室事業で連携していたヤクルト山陽の元には、地域の住民から「自分で出品するのは手間なので、引き取ってもらえないか」「廃業予定でまだ使えるモノの処分に困っている」といった声が届いていました。上記の自治体や地域住民のニーズから、それぞれが持っている強みを活かし、課題を埋め合うという座組み作りを意識して進めていきました。

工夫ポイント②：取り組みの認知獲得

- 意義のある取り組みも、住民の方に知ってもらわなければ意味がないため、当時のメルカリとしては初めて、ローカルに留まらない話題化により、全国メディアへの波及を目指すチャレンジを行いました。具体的には、取り組みを発表した6/5環境の日の二週間ほど前から、広島のメディアへ直接アポイントを取り、現地で担当者に取り組み説明するキャラバンを実施することでFBを得たり、活動内容に関する絵取りのための取材会を実施し、利用者にイメージしてもらいやすくしたり、さらに記者発表会では実際に販売される出品物の展示、安芸高田・三次市長による出品式を行うなど、リユース品の価値や魅力が伝わるよう工夫を行いました。結果、広島県内の全局での露出を獲得し、NHKでは全国ニュースでも紹介いただきました。

工夫ポイント③：効果検証

- 国立大学法人東京大学インクルーシブ工学連携研究機構（東京大学RIISE）「価値交換工学」と連携し、リユースの推進を通じて生まれた温室効果ガス（GHG）の削減貢献量を算出する効果測定を組み込みました。これにより、中長期的には他地域や他企業とも展開可能な地域循環のモデルケースとしていくことを目指していきます。

今回の取り組みを通じて感じていること

- リユースを進める上で、個社でできることには限界があることに改めて気付かされました。
- 地域に根ざした企業であるヤクルト山陽や、地域住民と絶大な信頼を築いているヤクルトレディのような存在がいるからこそ、リユースが人々の習慣になるきっかけを新たに作れるのだという学びが一番大きいです
- 今後も安芸高田市や三次市のような行政や、ヤクルト山陽のような地元に愛される企業との官民連携を通じて、捨てるをへらし、サーキュラーエコノミーの実現を目指していきたいと考えています。



参考: [ヤクルト山陽 メルカリShops](#)

ヤクルト山陽
★★★★★ 242 フォロワー 458

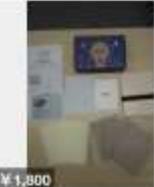
商品 ショップ情報

販売中 14 新着順

☆☆安芸高田市備品☆☆その他もあります [すべて見る](#)

 <p>学校机 電子メモ 持ち寄り取りのみ 配送は致しません</p> <p>¥1,000</p>	 <p>¥1,000</p>	 <p>¥350</p>
---	---	---

すべての商品

 <p>¥1,800</p>	 <p>¥900</p>	 <p>¥1,200</p>	 <p>¥850</p>	 <p>¥3,000</p>
--	--	--	--	---

 <p>安芸高田市</p> <p>SOLD</p> <p>¥20,000</p>	 <p>三次市</p> <p>SOLD</p> <p>¥4,000</p>	 <p>ヤクルト山陽</p> <p>SOLD</p> <p>¥3,500</p>
---	--	---